

③ 保護者アンケート  
ア 保護者アンケート

A(よくできている):3 B(ややできている):1 C(あまりできていない):-1 D(ほとんどできていない):-3

内 容		評 価				H 2 7 平 均	H 2 6	H 2 5	
		A	B	C	D				
学 校 経 営	方 針	1 学校は、教育目標をわかりやすく伝えているか。	3 9	4 9	5	1	1.68	1.46	1.31
		2 学校は、保護者や地域の意向を学校経営に活かしているか。	3 0	5 3	1 0	1	1.38	1.44	1.41
		3 学校は、子ども達が地域に目を向け、郷土小川を愛する子どもになるような取組を行っているか。(新項目)	5 9	4 0	2	0	2.13 ※新項目のため比較なし		
	教 職 員	4 教職員の電話等の対応・服装等は、適切であるか。	6 6	3 5	0	1	2.25	2.05	2.24
		5 教師は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価しているか。	5 0	4 0	5	1	1.90	1.42	1.40
教 育 課 程	編 成 ・ 実 施	6 子どもが、基礎基本を身につけるような家庭学習になっているか。(新項目)	4 1	5 0	8	1	1.62		
		7 学校内外で体験的な学習や心の教育の充実に積極的に取り組んでいるか。	4 9	4 6	3	0	1.94	2.04	1.90
		8 学校は、児童の体力向上を目指した取り組みを行っているか。	5 6	3 7	7	0	1.98	1.96	1.66
		9 教育特区を活かし、国際理解や ESD(環境学習、伝統文化学習、キャリア学習※主にコスモス祭や初市等で発表)などの新しい教育課題について、子どもたちに学ばせているか。(新項目)	5 0	4 1	1	1	2.01 ※新項目のため比較なし		
		10 子どもは、授業がわかりやすいと言っているか。	4 2	5 1	7	0	1.70	1.33	1.02
児 童 面	内 容	11 子どもは学校生活を楽しんでいるか。	6 4	3 4	3	0	2.21	2.08	2.14
		12 子どもは、友人関係を育み、仲良く生活できているか。(新項目)	5 9	3 8	2	0	2.15 ※新項目のため比較なし		
		13 子どもに、生命を大切に作る心や態度が育っているか。	5 1	4 4	3	0	1.98	1.96	2.17
		14 子どもに思いやりのある行動が見られるか。	4 2	5 5	3	0	1.78	1.74	1.78
		15 自発的にかつ粘り強く学ぶ習慣が身についているか。	2 5	5 7	1 6	3	1.06	1.39	1.59
児 童 の 変 容	学 習	16 子どもに学習内容が身についていると思うか。	3 0	5 1	1 4	2	1.25	0.51	0.55
		17 子どもは、知識や知恵を身につけ、よく考え判断し、表現する子どもになってきているか。(思考力・判断力・表現力の育成)(新項目)	2 1	5 4	2 3	0	0.96 ※新項目のため比較なし		
	生 活	18 子どもに、交通安全の意識や社会ルールを守る態度は育っているか。	4 9	4 8	9	0	1.75	1.51	1.45

	19	子どもたちは、あいさつをよくするか。	3 6	4 4	1 6	2	<b>1.39</b>	1.12	1.07
教 育 環 境	20	地域の人材を積極的に活用しているか。	3 4	4 6	1 4	0	<b>1.43</b>	1.43	1.21
	21	学校の環境美化が十分行われているか。	4 5	4 8	8	0	<b>1.73</b>	1.53	1.61
	22	学校は、生徒指導やいじめ・不登校防止に取り組んでいるか。	4 6	4 9	8	3	<b>1.60</b>	1.27	1.03
	23	児童生徒の安全確保の対策は図られているか。	2 7	3 2	9	0	<b>1.53</b>	1.18	1.08
	24	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できるか。	3 2	4 7	6	4	<b>1.40</b>	1.32	1.10
	25	学校では、子どもに関するプライバシーが守られているか。	3 5	4 6	1 0	2	<b>1.45</b>	1.60	1.46
連 携	26	学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれるか。	5 1	4 0	7	1	<b>1.85</b>	1.49	1.39
	27	学校は、学習や生活に関することなどの情報提供を適切に行っているか。	4 3	4 4	9	2	<b>1.61</b>	1.34	1.10
	28	授業参観の回数は適切であるか。	4 0	4 5	1 4	1	<b>1.48</b>	1.29	1.31
	29	学校は家庭教育と連携して、子どもを育てる取組を適切に行っているか。	3 8	4 5	8	1	<b>1.61</b>	1.40	1.24
	30	学校と地域の人たちとの交流の機会が、多く設けられているか。	5 0	4 3	4	0	<b>1.95</b>	1.72	1.60

## イ 考察

### <行事>

- 授業参観や学校行事などは、決まった曜日にあると休みがとりやすくなると思います。保護者が出る行事も少し多い気がします。(同様 他2名)

### <児童の姿>

- 部活動で会うときは挨拶はありますが、平日学校に用事で行くと、挨拶する子はしてくれませんが、知らない子はほとんどしません。知らない子ほど挨拶してくれると、もっと元気のある学校になると思います。しかし、以前よりは、挨拶をしてくれる子供達が増えたので、学校に行くとうれしくなります。(同様 他3名)

### <職員・指導>

- 校長先生の熱い思いがお話を聞く度に伝わってきます。ありがとうございます。
- 先生方のお陰で子供は成長できているように思います。感謝しています。
- 中庭(池)がきれいになるといいかなと思います。
- 持久走大会で2学年一緒に走っているので、学年で帽子の色を変えたら走ってるとき何年生かわかりやすいという意見が出ていました。
- 児童に昼休み正座させるということを耳にします。注意を受けた児童とは聞きますが、それは、適切ではないと思います。
- 子供の心理状態に対して考えてほしい。家庭環境等で辛い思いをしている子供のサポートをしてほしいです。いじめ、不登校の防止になると思います。

### <その他>

- 今の教育について項目も多いですし、何より第三者評価があり、昔より神経質になって

いることが果たしてよいことなのだろうかと感じることがあります。今の時代で育っている子供達、自分たちが子供の頃の時代、もっと昔の子供たちの児童、時代は変わっても子供が育つという根本的な所は変わらないと思います。先生方の子供達に対する一生懸命さに本当に頭が下がります。もっともっと保護者自身が子育てについて振り返り、学校の評価よりも家庭の在り方に目を向ける方が大切だと思います。

- いつもお世話になっております。災害や雪で学校が早めに終了する場合、先生方も大変だとは思いますが、もう少し早めに連絡がほしいです。
- P T A役員は、クラス毎に1人1役にできないものかと思います。体育委員が運動会、親子ふれあい持久走という具合ではなく、プール監視のようにそれぞれの行事に割り振る形で。負担を偏らせないためにも。きょうだいがいるところは、二役、三役にもなると思いますが、責任に割り振った方がいいです。話し合いにも来ない家庭が逃げれば損をするようにしてほしいです。
- 毎年担任の先生が変わることは、特に問題ないのですが、子供に対する心配事があり、それを毎年新しく担任して頂く先生にお話ししなくてはいけないので、申し送り（引き継ぎ）を先生方でしていただくとありがたいです。
- 担任は1年毎に変わるのでしょうか。子供達は先生に慣れてきた頃に担任替えになるので、また新たなスタートになります。
- 個人の学力などあまり先生と話す機会がないので、懇談会は、年に一回個別にして頂けるといいなと思います。

#### ウ 考察

- 4 「教職員の電話等の対応・服装等は適切である」 9 「教育特区を活かし、国際理解や ESD（環境学習、伝統文化学習、キャリア学習※主にコスモス祭や初市等で発表）などの新しい教育課題について、子どもたちに学ばせているか。」 11 「子どもは学校生活を楽しんでいる」 12 「子どもは、友人関係を育み、仲良く生活できているか。」が、平均値が2以上と評価が高い。
- 15 「自発的にかつ粘り強く学ぶ習慣が身についている」 17 「子どもは、知識や知恵を身につけ、よく考て判断し、表現する子どもになってきているか。（思考力・判断力・表現力の育成）」が、平均値が低い。

#### エ 対策

**質問15、17については、学校でも家庭と連携した家庭学習の習慣化を一層図り、与えられた課題だけでなく、自主学習にも取り組ませるようにしていく。また、校内研修による授業力向上を目指しながら、児童に知識や知恵を身に付けさせるとともに、よく考え判断し、表現する力を身に付けさせるようにする。**

### <「学校へのご意見」に対する対策>

- ① 日曜授業参観やP T A行事活動については、本年度は、8月21日（日）に予定されている「愛校環境美化活動」のみとし、P T A学年委員の主催で学年交流活動（茶話会）を実施する。また、例年全学年で行っていた餅つき大会については、5年生のみの実施（予定）とし、12月に2回行っていた授業参観を1回に集約させて実施する。
- ② 教室で走り回る児童に対し、何度も注意しても繰り返したため、正座させて落ち着かせ、教師も座って対面した上でじっくり話を聞き、しっかり指導している。今後もしっかり指導にあたっていく。
- ③ 懇談会、家庭訪問のみならず、保護者が、いつでも学校、担任に相談できるよう「いじめ・悩み事相談窓口」の活用を保護者に周知していく。
- ④ 児童会活動を活性化させ、児童の自発的活動を促し、同時にP T Aとも連携し、本年度は、P T Aスローガンを設定し、学家連携して挨拶いっぱいの学校づくりを目指す。
- ⑤ 学校からの発信は、「はなまる連絡帳（携帯メール）」登録が全員できた。
- ⑥ 子供達の状況は、学校もつかめないことも多いので、機会を捉えてP T A、地域に情報提供を求めている。
- ⑦ P T A役員等と話し合い、よりよい学校づくりが進むようにする。